

税について考えよう

平成22年度 納税表彰式を行いました

11月16日、アミューズメント佐渡で平成22年度の納税表彰式が行われ、申告納税制度の普及・発展や租税教育の推進などに尽力された次の方々表彰されました。

— おめでとございます —

★佐渡税務署長表彰

柳 敏久さん／本間 末之進さん

★租税教育推進校佐渡税務署長感謝状

市立松ヶ崎中学校

★作文募集協力校全国納税貯蓄組合連合会長感謝状

市立東中学校

中学生の税についての作文

市内の11校248編の応募の中から選ばれた入選者です。

★新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

伊藤結菜さん（畑野中3年）

★佐渡税務署長賞

安藤 護さん（真野中3年）

本間扶由美さん（羽茂中3年）

★新潟県佐渡地域振興局長賞

中川祐樹さん（南中3年）

★佐渡市長賞

太田瑠里さん（新穂中3年）

中原瑞葵さん（羽茂中3年）

鈴木望生さん（畑野中3年）

★佐渡市教育長賞

富山希穂さん（真野中3年）

中川遥介さん（新穂中3年）

平馬萌香さん（畑野中3年）

本間奈菜子さん（羽茂中3年）

★全佐渡納税貯蓄組合連合会長特別賞

谷口佳洋さん（内海府中2年）

★全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞

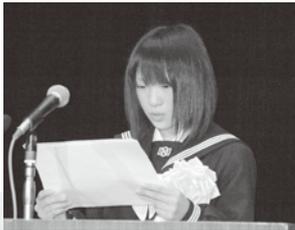
菊池鮎子さん（松ヶ崎中1年）

田原未央さん（東中1年）

佐藤由梨さん（畑野中3年）

佐山寿実杜さん（新穂中3年）

新潟県納税貯蓄組合
総連合会優秀賞の
伊藤結菜さん



平成22年度 納税表彰式



納税表彰式

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞 笑顔を送る税金

市立畑野中学校3年 伊藤結菜
「税金で なり立つ社会 いい暮らし」

これは2年前の私が佐渡市教育委員会教育長賞をいただいた標語だ。でも本当のことを言うと、この時私は税金とは何のためにあるのか、一体何なのかなんて知らなかった。ただ分かってきたのは、みんなが払っているものだということだった。

2年前の私が思っていたように、税金はみんな払っている。自分が一生懸命に働いて、もらった給料の何パーセントかを国に納めている。わざわざ面倒くさいなと思う人もいるかもしれない。けど仮に、この日本から税金が消えたとする。その時に一番困るのは私たち自身だと思う。なぜなら税金で今の私たちのしている何の不便もない豊かな暮らしが成り立っているのだから。

税金は様々な所へ使われている。例えば、健康な生活を送るための健康診断や予防接種、高齢者が安心して暮らせるための施設やサービスなども税金が使われている。もし、税金がなかったら、診療料や治療費を自己負担で払わなければならない。そう考えると税金は本当にありがたい。

また、税金で道路を補修したり、ゴミの処理もしている。これも税を払わなければ、道路は穴だらけ、街にはゴミがあふれているというような、今の生活からは考えつかないようなことが

おこるだろう。それだけ税は私たちの暮らしを豊かにしてくれている。

そして私たちが使っている教科書、机やイスの購入、校舎の建設や修理も多くの人が納めた税でまかなわれている。たしかに教科書のうしろには、

「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、国民の税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書いてあった。私は国民の人たちが納めてくれた税で教科書や机、イスを使えると思うと大切に使用しなければならぬと思った。

私は将来、きちんと税を納める大人になりたいと思う。今の暮らしと変わらぬ、ゴミの処理がきちんとされ、道がきれいに整備されたような良い暮らしをしたいから。それに私が今学校に行つて学べるという環境があるように未来の子供たちにも学校に行つて学んでほしいと思う。だから私は税をきちんと納めたい。

この作文を書くにあたって2年前は知らなかった多くの事を知ることができた。税はなぜ納めるのか、税とは一体何なのかなど税に対しての知識が増えた。税のことを知つてこそ

「税金で なり立つ社会 いい暮らし」をあの頃よりも胸をはって言える。そして税は、これから何年、何十年先もみんなの笑顔を送らせてくれるだろう。

